

平成18年10月10日

関係大学長・関係機関長 殿

筑波大学大学院生命環境科学研究科
遺伝子実験センター長 鎌田 博

教員公募について(依頼)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、筑波大学大学院生命環境科学研究科遺伝子実験センターでは、下記の要領により教員を公募いたします。ご多用中まことに恐縮に存じますが、貴学・貴機関関係各位への周知方並びに適任者のご推薦について、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1 募集人員 : 講師あるいは助教 1名

2 所 属 : 遺伝子実験センター

3 専門分野 : 遺伝子組換え基礎技術開発研究分野(植物分子生理学)

今回募集する教員は、遺伝子実験センターに設置されている遺伝子組換え基礎技術開発研究分野の講師あるいは助教で、以下の業務・研究を担当してくれる方です。

(1) 学内外共同利用(下に説明)のために必要な業務

学内外共同研究として進められている多様な遺伝子組換え植物に関する研究のうち、その育成・栽培、および、特性評価や環境影響評価等に関する研究・業務に従事してくれる方。植物生理学や植物分子生物学等の分野での研究実績がある方が望ましい。また、学内外共同利用者の指導・助言、共通利用機器の維持・管理、センターの運営にも責任を持って取り組んでくれる方。

(2) 遺伝子実験センターの主要な業務であるトレーニングコース(下に説明)の企画・立案・実施

植物に関するトレーニングコースについて、同分野の助教授と協力して担当してくれる方。

(3) 高等植物を主たる対象とし、遺伝子組換え植物の育成・栽培・特性評価・環境影響評価に関する研究や遺伝子組換え植物を利用したゲノムリソース研究等に関する独自の研究に取り組んでくれる方。なお、遺伝子実験センターには遺伝子組換え植物育成・栽培用の特定網室や隔離圃場が整備されており、これらの設備を積極的に活用してくれる方。

(4) 教育については、筑波大学大学院生命環境科学研究科のいずれかの専攻に所属し、大学院生の教育・研究指導も担当してくれる方。

4 応募資格 : 博士の学位を有する方あるいは採用時まで取得見込みの方

なお、今回募集しているポストについては、テニュアトラック制が適用される予定です。本テニュアトラック制においては、採用時に採用後5年間に達成すべき成果目標(研究および業務)を予め文書にて取り交わし、その達成度を5年の採用期間内に評価し、目標が達成された場合には任期を定めない職に移行するものです。詳細については担当者にご直接お問い合わせ下さい。

5 採用予定年月日 : 平成19年4月1日

6 必要提出書類(書式自由)

(1) 履歴書(高等学校卒業以後の学歴、職歴および研究歴)(写真貼付)

(2) 研究業績目録(査読付き論文(英文、和文) 総説(英文、和文) 著書(英文、和文) その他の著述(英文、和文) 受賞、外部資金導入実績(代表および分担)(題目、金額等を明記) 特許、品種育成、等に分類して記載してください。)

(3) 主要論文の別刷またはコピー(各1部)(最近5年以内の論文、著書等の印刷物は全て提出してください。)

(4) 教育実績および社会貢献活動の目録(経験のある場合のみ記載)

(5) 現在までの研究の概要(2000字以内)

(6) 今後の研究ならびに教育(特に、遺伝子組換え植物の育成・栽培・特性評価・環境影響評価に関する研究や遺伝子組換え植物を利用したゲノムリソース研究等、トレーニングコース等における技術指導等、および社会貢献等を含めて)に関する抱負(2000字以内)

(7) 所見を求めうる方2名の氏名、所属、連絡先

8 応募締め切り日 : 平成18年11月20日(必着)

9 応募書類提出先

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学遺伝子実験センター

講師公募選考委員会委員長宛

(封筒に「公募応募書類在中」と朱書し、簡易書留郵便で送付してください。)

10 問い合わせ先

筑波大学遺伝子実験センター 鎌田 博
電話 029-853-4674
FAX 029-853-4674 or 029-853-7723
e-mail hkamada@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

学内外共同利用について

筑波大学遺伝子実験センターでは大規模な学内共同利用を実施しており、現在、約200名近い学内研究者（教官・大学院生・学部生等）が常駐しております。また、遺伝子組換え実験に関する多種多様な機器を共同利用のために整備しており、特に、遺伝子組換え植物の育成・栽培のために必要不可欠な多様な栽培室、特定網室（カルタヘナ法に基づく遺伝子組換え植物栽培用の特殊な温室）、隔離圃場を整備しております。このような特殊設備を活用し、遺伝子組換え植物の育成・栽培・特性評価・環境影響評価に関する研究や遺伝子組換え植物を利用したゲノムリソース研究等について、学外との共同利用も多数実施しております。今回公募されているポストに着任される方には、このような学内外共同利用者への指導・助言や特殊設備を活用した遺伝子組換え植物に関する学内外共同研究の研究・業務を中心になって進めていただきます。

トレーニングコースとは

筑波大学遺伝子実験センターが主催しているトレーニングコースとは、毎年秋に1週間の日程で実施している遺伝子組換え基礎技術研修会のことです。公募によって選ばれた10・15名程度の受講者に対して、月曜日朝から土曜日お昼までの1週間（毎日、朝9時から夜10時近くまで）に渡り、遺伝子組換え技術（植物を主たる対象とする基礎技術および先端技術）について、実技を通してきめ細かい指導を行うコースです。今回募集されているポストに着任される方には、このようなトレーニングコースの企画・立案・実行を同分野の助教授の方と一緒に進めていただきます。